

3. ウイルス検定

1) イネ縞葉枯病ウイルス

(1) 目的

長崎県内におけるヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の本病の防除対策に資する。

(2) 採集及び検定方法

ア 供試虫の採集

越冬世代虫：3月 3～16日

第1世代虫：5月14～25日

イ 検定方法

ラテックス凝集反応法により、越冬世代は3月20日、第1世代は5月25～30日に検定をおこなった。

(3) 結果の概要

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒率は、越冬世代が1%、第1世代が1.4%と平年に比べ低かった（表1、2）。

表1 ヒメトビウンカ（越冬世代）の縞葉枯ウイルス保毒率

調査地点	供試虫数(頭)	保毒虫数(頭)	保毒率(%)
多良見町船津	108	0	0
長与町齊藤	100	1	1
琴海町長浦	105	0	0
外海町神の浦	103	3	2.9
大瀬戸町雪の浦	184	2	1.1
諫早市小船越	91	3	3.3
〃 小野	17	0	0
大村市鈴田	60	0	0
東彼杵町三根	19	0	0
吾妻町布江	3	0	0
国見町神代	68	1	1.5
佐世保市宮	67	0	0
〃 早岐	84	0	0
松浦市上志佐	157	1	0.6
平戸市中野	85	1	1.2
合計（平均）	1251	12	1.0

参考 ヒメトビウンカ（越冬世代）の保毒率の推移

調査年度	平年	10年	9年	8年	7年	6年
保毒率(%)	3.4	1	7.7	0.3	0.3	1.3

表2 ヒメトビウンカ（第1世代虫）の縞葉枯ウイルス保毒率

調査地点	供試虫数(頭)	保毒虫数(頭)	保毒率(%)
大瀬戸町雪の浦	4	0	0
諫早市小船越	97	2	2.1
〃 小野	95	2	2.1
高来町湯江	85	2	2.1
森山町田尻	102	0	0
大村市三浦	84	1	1.2
〃 萱瀬	15	0	0
波佐見町	131	1	0.8
国見町神代	70	2	2.9
南有馬町北岡	74	3	4.1
佐世保市長畑	67	0	0
松浦市御厨	20	0	0
平戸市木引	84	0	0
合計（平均）	934	13	1.4

参考 ヒメトビウンカ（第1世代）の保毒率の推移

調査年度	平年	10年	9年	8年	7年	6年
保毒率(%)	2.0	1.4	1.5	0.6	1.5	0.9

2) イネ萎縮病ウイルス

(1) 目 的

長崎県内におけるツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の本病の防除対策に資する。

(2) 採集及び検定方法

ア 供試虫の採集

第1世代虫：5月13～25日

イ 検定方法

ラテックス凝集反応法により、5月22～26日に検定をおこなった。

(3) 結果の概要

ツマグロヨコバイの第1世代虫のウイルス保毒率は0%であった（表）。

表 ツマグロヨコバイ（第1世代虫）の縮葉枯ウイルス保毒率

調 査 地 点	供試虫数(頭)	保毒虫数(頭)	保毒率(%)
大瀬戸町雪の浦	4	0	0
外海町	1	0	0
諫早市小船越	300	0	0
〃 小野	100	0	0
高来町湯江	3	0	0
森山町田尻	50	0	0
大村市三浦	100	0	0
〃 萱瀬	100	0	0
国見町神代	17	0	0
西有家町上の原	28	0	0
南有馬町北岡	61	0	0
佐世保市長畑	100	0	0
〃 重尾	12	0	0
松浦市御厨	100	0	0
福江市本山	3	0	0
合 計（平 均）	979	0	0